

資料1 原町市立大夔小学校の実践プログラム(例)

事業のねらい(目的)	高齢者と若い世代が交流をはかり相互の理解を深めるため野菜づくり、花づくり、収穫祭、ゲートボール、笛太鼓などを行って技術の伝承をはかる。						
事業の程度	一般向き	学習形態	実技・実習を中心とする	開設時期・回数	4月～3月(43回実施)		
対象者の範囲・定員募集人数等	地区内在住幼稚園児、小学生、高齢者	主な実施場所	大夔小学校 大夔公民館	その他	申込 4月末日 大夔公民館		
具体的内容等(プログラムの内容及び特色等)	回数	事業の内容	事業の方法	期 間	活動日数	時間数	学 習 内 容
	1	野菜づくり	実 習	5月～10月	10日	20	観賞用野菜 さつまいも
	2	花づくり	実 習	4月～3月	8日	16	花だんづくり
	3	ゲートボール	交 流	7月～8月	4日	8	部落ごとに夏期休業日を利用して 実習、チビッコゲートボール大会
	4	昔と今の遊び	交 流	12月～1月	2日	4	たこ、竹うま、お手玉遊び(つくり方)、たこあげ大会
	5	郷土を知る	実 習	8月～3月	16日	16	笛、太鼓の伝承 10月より毎週木曜日1時間(道中笛、相馬盆踊、宝財踊)
	6	収 穫 祭	交 流	10月	3日	12	石やきいもをつくり試食会をする 幼、小(低学年、高学年)別

① 学校と家庭や地域の連携ができた。
 ② 地域活性化につなげることができた。
 ③ 地域の学校に対する理解が深まり「開かれた学校」として前進することができた。
 (三) 原町市大夔小学校における実践例
 学校が創意の時間等を活用し、地域の人々と交流をはかりながら野菜づくり、花づくり、収穫祭、ゲートボール、笛太鼓などの技術の伝承をはかり成功をおさめたプログラムの内容を紹介します。(資料1参照)

④ 人材名簿の活用実績
 平成三年度の登録者の活用実績は、社会教育を含め、一人当たりの活用回数は十九・六回となっています。(資料2参照)
 ⑤ 指導分野別活用状況は、趣味、生活文化、スポーツ、健康、教養、生活・伝承文化、社会奉仕の順となっています。(資料3参照)
 五 登録者の感想
 ① スポーツ登録者(六十五歳)
 今の子供はおかしい、礼儀がない、忍耐力がない、スポーツをとおして青少年健全育成に努めてゆきたい。
 ② ゲートボール登録者(六十九歳)
 確実に高齢者の通院は少なくなっています。さらに医者いらず社会の実現にむけて頑張つてゆきたい。
 ③ 再登録者から新登録者へ
 ● 受講生が納得するような先生になるために、自助努力が大切です。
 ● 指導する意欲に燃えてこそ、はじめて指導者といえる。
 ● 登録は、自分自身のためになる。
 ● 教えようとしなくて共に学ぶやり方が良い。

六 おわりに
 地域には、長年にわたって培ってきた優れた知識・技能を有する高齢者が沢山います。
 生涯学習の推進や、学校週五日制にともなう学校外活動のため

資料3 管内別、指導分野別活用状況及び1人当たりの被活用回数

管内	指導分野別活用状況						合計	1人当たりの被活用回数
	ア生活文化	イ健康スポーツ	ウ社会奉仕	エ教養の上	オ趣味生活	イ文		
県北	261	469	2	76	839	1,647	32.3	
県中	132	150	24	351	223	880	19.6	
県南	1	34	4	45	342	426	20.3	
会津	114	315	13	211	303	956	15.7	
南会津	77	269	8	24	187	565	16.1	
相双	6	244	39	59	391	739	22.4	
いわき	57	260	128	572	720	1,737	15.9	
合計	648	1,741	218	1,338	3,005	6,950	19.6	

資料2 年度別登録者数とその活用回数

年度	登録者数	活用延回数	1人当たりの活用回数
昭和57年	219名	1,423回	6.5回
58年	274名	3,630回	13.2回
59年	285名	5,162回	18.1回
60年	283名	5,727回	20.2回
61年	286名	5,524回	19.3回
62年	257名	5,597回	21.8回
63年	282名	5,780回	20.5回
平成元年	312名	5,962回	19.1回
2年	355名	5,326回	15.0回
3年	355名	6,950回	19.6回

に、このような、高齢者がより多く発掘され、指導者としてさらに多く活用されますことを願っております。
 なお、登録者名簿は、市町村教育委員会・公民館・各学校に配布されています。